

研究内容の説明文

研究課題名	一般住人における重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルス抗体の保有状況調査
研究期間	平成28年4月1日(金)～平成31年3月31日(日)
研究機関名	鹿児島県環境保健センター（錦江庁舎）
研究責任者職氏名	所長 西 宣行

研究の説明

1 研究の目的・意義

重症血小板減少症候群（SFTS）は、平成23年に確認された新しいウイルスで、平成25年に日本で初めて患者が確認されました。西日本に多く平成27年11月18日現在で169名の患者が発生し、47名が死亡しています。そこで、一般住民におけるSFTSウイルス抗体保有状況を明らかにすることを目的として検査を実施します。

SFTS患者のSFTSウイルス抗体についての報告はありますが、一般住民における抗体保有状況については、現在のところ報告がありません。すでに感染している人がどのくらいいるのかを把握することは、公衆衛生的意義が大きく、今後の感染症予防対策に役立ちます。

2 方法《献血血液の使用方法含む》

献血血液は、血清を用いて鹿児島県環境保健センターにおいて、ELISA法（酵素標識抗体法）等でSFTSウイルス抗体を測定します。

3 予測される研究の成果等

ヒトのSFTSウイルス抗体保有調査により、SFTSウイルス感染者がすでに存在していることが明らかになります。不顕性感染など把握することができます。これらの成果は、感染症予防啓発と国民の公衆衛生上に役立つ研究と考えています。

4 血液の廃棄と保管

献血血液は、-80°Cの冷凍庫に保管し、研究終了期間まで、当センターにおいて、鍵のかかる保管庫で管理します。

研究終了後、献血血液は、全て滅菌処理後、感染性廃棄物として適正に廃棄します。

受付番号 28J0026

本研究に関する問い合わせ先

所属	鹿児島県環境保健センター（錦江庁舎）
担当者	御供田睦代
電話	099-224-2612
Mail	biseibutu@pref.kagoshima.lg.jp

本書は日本赤十字社ホームページで公開され、必要に応じ献血者への説明資料として使用されます。